

3/26~5/8

特別展覧会 法然上人八百回忌

法然 —生涯と美術—

この展覧会は、平安時代末期に人々の救済のために念仏信仰を説き、浄土宗の開祖としてよく知られる法然の往生からちょうど八百年となるのを記念して開催します。法然の伝記の集大成ともいえる国宝「法然上人絵伝」(四十八巻伝、知恩院蔵)を軸に、遺された多くの文化財によって、法然の生涯と思想、また法然をめぐる人々の事跡を展覧します。



重要文化財 法然上人坐像
奈良国立博物館蔵



国宝 法然上人絵伝のうち 京都・知恩院蔵

7/16~8/28

特別展覧会

百獣の楽園

—美術にすむ動物たち—

ソウヤラクダなどの大型哺乳類、イヌ・ネコ・ウサギといった愛玩動物、色鮮やかな鳥たち、ユーモラスな両生類、虫や魚。迫力の霊獣…縄文時代から現代にいたる当館の収蔵品の中から、選りすぐりの名品でお届けする初の動物特集です。制作年代や書画・彫刻・工芸といった表現のちがいを越えて、日本で愛されてきた動物たちの姿をいきいきと映し出します。



奈良国立博物館蔵



百鳥文様友禅染打掛
京都国立博物館蔵

三彩騎駝
京都国立博物館蔵



7/27~29

夏期講座「文学と美術II」

事前に申し込みが必要です。
会場：ハートピア京都



2012
2/11

国際シンポジウム

特別展覧会「中国近代絵画と日本」に
ちなんだシンポジウムです。
事前に申し込みが必要です。
会場：国立京都国際会館

10/8~11/23

特別展覧会

細川家の至宝

—珠玉の永青文庫コレクション—

東京・目白の永青文庫は、旧熊本藩主であった細川家の宝物を譲り伝えるために設立されました。歴代当主ゆかりの品々に、近代以降あらたに収集したものが加わり、総数は8万点を超えます。そこから厳選された至宝の数々は、「文武両道」細川家の歴史をまさに体現するものといえるでしょう。



国宝
金銀貨幣類文庫
永青文庫蔵



重要文化財
織田信長自筆書状
永青文庫蔵



重要文化財
細川氏用 永青文庫蔵

2012

1/7~2/26

特別展覧会

中国近代絵画と日本

中国の近代を中心に活躍した呉昌碩、齊白石、高剣父、徐悲鴻等の絵画作品を、当館が近年受贈した須磨コレクションを中心に展示し、その多彩な展開を追います。西洋の近代物質文明の衝撃は、旧態依然とした中国の社会全体を揺さぶり、変革を促しました。

近代画壇における改革のリーダーとなった陳師曾、高剣父、徐悲鴻等は日本との関係が深く、中国絵画の近代化に果たした日本の役割は決して小さくありません。この展覧会をとおして近代における日中文化交流の一面をご理解いただければ幸いです。



仰天瀑図 黄賓虹筆
京都国立博物館蔵

宋法山水図 齊白石筆
京都国立博物館蔵



2012

4/17~5/27

特別展覧会

陽明文庫

(仮称)

五摂家の一つである近衛家に伝えられた典籍・古文書などを収めている陽明文庫の名品を一堂に展示します。藤原道長自筆の国宝「御堂関白記」や重文「藤原忠通書状」などの歴代の名宝、国宝「倭漢抄」下巻や国宝「大手鑑」などの名筆を含む、国宝8件・重文60件を中心に、これまでにない規模の特別展覧会となります。



国宝 御堂関白記 部分 陽明文庫蔵